

本時のねらい

町たんけん、お店の方に行うインタビューの内容を考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

それぞれが考えたインタビューを、グループごとにタブレットの共同編集機能で集約し、どんなインタビューをするのが今回の学習に適しているか考える。「共有ノート」を使えば、印を入れたり内容を編集し直したりすることが複数人で同時に行えるので、効率よく、質問内容をより深めることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 町たんけんで行う学習についてこれまでの流れを振り返る。 本時のめあてを確認する。 <p>「お店のかたへのインタビューを考えよう」 【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 以下の2点を事前に伝え、見通しをもたせる。 ①自分の考えをロイロノート内の「ノート」に書く。 ②「共有ノート」を使用してグループで意見をまとめる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 自分でインタビュー内容を考え、ロイロノート内のノートに書く。 共有ノート上でそれぞれの意見を集約し、どの質問がふさわしいか相談して決める。 お店に関係がある質問になっているか。 失礼な質問になっていないか。など <p>【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 共有ノートに、自分で考えたインタビュー内容を書いたカードを送信させる。 「線を引く」「並べ替える」などの機能を活用し、効率よく話し合い活動ができるように声をかける。 各グループの共有ノートを提示し、話し合い時に行った工夫などを取り上げる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いにより決まったインタビューを交流する。 <p>【写真3】</p>	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】タブレットでインタビュー内容を書くことを確認している場面



【写真2】一人でインタビューを考えた後、グループで質問内容を決めている場面



【写真3】グループで決めた質問内容を発表している場面

児童生徒の反応や変容

- グループで決定した質問がわかりやすいように、「線を引く」というアイデアが子どもたちから提案された。また、共有ノートを使う際、カードがバラバラにならないように1つのシートに入れたり繋げたりして、自分たちで工夫しながら使うことができるようになり、効率よくグループで考えたり、まとめたりすることができるようになった。
- 共有ノート機能を使うことで、全員が同じ一つのノートを、各自のタブレットで参照することができるので見やすく、考えることに集中できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ロイロノートの共有機能を使いながら話し合い活動をする、ノートがグループ全員で共有されており、友だちにも常に見てもらえる状態になっているので、自分の意見を伝えるのが苦手な子も、伝えたい内容を理解してもらいやすく、アドバイスや意見交換もしやすくなる。
- 普段からよりよい使い方を全体で共有しておくことで、使い方を教わって学ぶだけでなく、自らよりよい使い方を提案するなど主体的な使い方をする姿勢が育ってきた。